

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE埼玉県2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社桂紙業 本庄新工場	階数	地上2階
建設地	埼玉県本庄市見玉町共栄字南共和	構造	S造
用途地域	用途地域指定なし、防火指定なし	平均居住人員	27人
地域区分		年間使用時間	3,500時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 0.0	評価の実施日	2017年5月26日
敷地面積	7,247㎡	作成者	樺澤 裕太
建築面積	3,136㎡	確認日	2017年5月27日
延床面積	3,314㎡	確認者	古田 鉄二

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合 敷地の外周部には緩衝帯として緑地を設置し、建物配置は近隣側を避けて影響のないように配慮した。		その他
Q1 室内環境 屋根は折板屋根で断熱材裏打ちのものを使用し、事務所部分となる部屋には天井を設け、2階天井裏には断熱材を敷設する。また、外壁にはALC100mmを採用し、外部の温熱影響を極力避けるように計画した。	Q2 サービス性能 屋根下に十分なスペースの荷捌きスペースを設けることで、迅速な資材の仕分けができるように計画し、かつ、工場部分・倉庫についてもゆとりのあるスペースを設けることで、作業の効率化を図った。	Q3 室外環境(敷地内) 雨水については敷地内に雨水浸透施設を設け敷地内処理をする。十分な駐車場・駐輪場・トラック待機スペースを設け、車路に袋小路を設けず回遊性を持たせることで、敷地内の通行をスムーズにできるように計画した。またトラック待機
LR1 エネルギー モデル建物法において一次エネルギー消費量 BEIm: 0.36の結果であり、1.0未満で達成。	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境 外周部に緑地帯を設け、緩衝帯としている。敷地内に十分な駐車スペースを設け、敷地外の路上駐車をさせないように配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される